R I. 第2620地区　静岡第2分区
三島西ロータリークラブ
週報
第1989号

事 務 所　静岡県三島市中央町4番9号　2F
TEL〈055〉976－6351　FAX976－6352
例 会 場　静岡県三島市梅名393－1　ブケ東海三島
TEL〈055〉984-0120
会　長　諏訪部照久　　幹　事　千葉　慎二

広重版画より　三島　朝霧

第2052回例会

2014.12.11㊎

司　　会　三田明宏君

ロータリーソング　「我等の生業」
指揮　登崎久夫君

会長挨拶

会長　諏訪部照久君

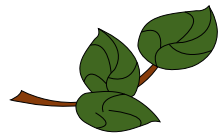
皆さん今晩は、今月は12月で来月はもう新年です。このごろは歳のせいか、一年があっという間に過ぎてしまいます。

さて今日はクラブ協議会で、各委員会の上半期での報告がありますが、私の今の心境はあと6カ月ではなく、もう6カ月です。これは歳のせいではなく、幹事をはじめ各委員会の皆さんや会員の皆さんのご協力があっての事と、この場をかりまして御礼申し上げます。6カ月を通して特に難しいと感じたことは、四つのテストの2、「みんなに公平か」です。〈平等〉とは違う〈公平〉の難しさは、何をするにしても、悩みの種でした。最終的には最大公約数的な方法を採るしかないのですが、それでも不公平とまでは言わないにしても、少数の誰かにしわ寄せが及んでしまいます。よって慣例以外は、毎年、毎回、〈同じにしない〉ようにチャレンジすることを心掛け、より多くの方に例会を楽しんで頂こうと、各委員長ともども努力をしていますので、ご理解頂きたいと思います。それでは、後ほど各委員会からの報告がありますので、会員の皆さんには更なるご協力をお願いしまして、簡単ですが会長挨拶とさせていただきます。

出席報告

	出席総数	出　席　率	メーク アップ	修正 出席率
前々回	35/43	81.40%	39/43	90.70%
今　回	38/44	86.36%	会員総数	49名

欠席者　勝間田君、野田君、花房君、藤江君、矢岸君、柳田君



幹事報告

幹事　千葉慎二君

①本日はクラブ協議会。上半期の委員会活動報告をして戴きます。
②12月25日（クリスマス忘年家族例会）、1月8日（4クラブ合同新年例会）は共に例会場変更（みしまプラザホテル）、例会時間変更（18:00開会点鐘）なのでお間違え無く。
③1月の理事役員会は、1月15日（木）11:45（例会前）から開催致します。

クラブ協議会

ＳＡＡ　三田明宏君

年度当初に掲げた基本方針の下、会長、幹事、各委員長、卓話者そして事務局等、連携を通じての例会運営に努めてまいりました。

また、通常例会をはじめ、せせらぎ三島RCとの合同例会(岡本ガバナー訪問)、移動例会など和やかで規律ある運営に努めてきたつもりですが、何かと不備、至らぬ点ありました事、反省しております。

しかしながら、会員皆様の例会に対する深いご理解とご協力ご参加により、良い雰囲気のある例会作りができたと考えております。

改めて、皆様のお支えに感謝しつつ、上半期委員会報告とさせて頂きます。

会員増強維持委員会　委員長　鈴木正二君

基本方針･活動計画にのっとった組織的活動は未だなされていないことを、初めに深くお詫びいたします。

ただ、前田副委員長が危機感を持って積極的に活動をしてくれています。彼のこれまでの活動母体であった、三島青年会議所、三島商工会議所青年部、三島田方法人会の40～50才代の友人･知人30名くらいに積極的に声掛けして若干名の承諾も得ているようであります。今後計画にのっとってクロージングを進めていきます。また会員の方から、こういう情報が取れるように話してあるよとか、こんな人がいるよというお話もいただいています。

期首51名でスタートして2名減り1名の純増計画でありますので、これから3名の新入会者を、残り半年で委員会のメンバーの力を合わせて増強･維持に取り組んでいきますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

クラブ広報委員会　委員長　川名正洋君

活動実績

会員の皆様のご協力と事務局の支援により週報の発刊ができています。

8月23日に行ったイトーヨーカ堂での献血運動の残りのトイレットペーパーを三島市に寄贈した記事が9月17日の伊豆日日新聞に掲載されました。

後期の活動予定

クラブ内の絵画同好会など親睦活動を週報に載せる

「ロータリーの友」へ掲載する記事を会員に依頼する

マスコミや地域コミュニティーへ情報提供し新聞等へ掲載してもらう等今年度の基本方針･活動計画をしっかり遂行していきます。

クラブ管理運営委員会　委員長　原　久一君

卓話者の予定は、特別の変更もなく計画通り行われています。外部卓話もなく新会員の自己紹介や人生観を中心とした卓話が多く会員同士の親睦の一助を担っている。

上半期の出席率は、メイクアップ方法、委員よりインターネットのメイクアップの説明を行いました。

会員のご理解と協力を得て上半期は、平均出席率は、昨年の89%から4,7ポイント向上し93,77%になりました。この出席率の中には近年、類まれなる修正出席率100%が1回ありました。

前年度より引き継ぎました余り食は、連絡を忘れていた、連絡をしたけれど間に合わなかった理由で、20食でした。

下半期の課題　出席率の向上、余り食の減少。

親睦活動委員会　委員長　森崎祐治君

本年度は夜間親睦例会を年3回会場を他に移して親睦をより深める企画ということでこれまで9月と11月に街中の「松韻」「昭明館」を会場に開催いたしました。9月は3Dプリンターの見学を盛り込み、また例会時間のお酒をクラブ予算で負担するなど少し異なった「チャレンジ」をしてみました。この後12月と1月にクリスマス忘年家族例会と4クラブ合同新年会を控え委員会を開催し内容を検討案内を作成するなどして現在その準備を行っています。会員の皆様のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

ロータリー情報委員会　委員長　矢岸克行君

11月15日(土)･16日(日)　地区大会

会長･幹事他7名の方に参加していただきました。

1月15日　ロータリー情報委員会クラブフォーラム卓話予定

職業奉仕委員会　委員長　佐々木雅浩君

今年度のメイン事業であります職場見学会を、10月の職業奉仕月間に合わせ、10月23日(木)例会場を変更しないでバーチャルで行いました。

伊丹会員の経営するマルヨ給食センターが長きに渡り、安心安全な食を通して地域社会に貢献してきたことや、ハセップ(HACCP)認定工場の内容をバーチャルで分かりやすく説明していただきました。

プロジェクター操作に、ご子息の三島ロータリークラブの伊丹克明会員が担当してくれたことも併せて報告致します。

お土産には当工場敷地内に湧出しているミネラルウオーターを、参加会員全員にいただきました。

社会奉仕委員会　委員長　藤江康儀君

1.平成26年8月23日(土)イトーヨーカドーにて「献血運動」を実施、午前10時から午後4時までに41名の献血協力がありました。

2.新規事業「盲導犬育成事業」のデモンストレーションとして富士ハーネスから日本盲導犬協会池田義教様･盲導犬アッサム君に来て頂き訓練成果を披露しました。

3.平成26年9月17日(水)「献血運動」で残ったトイレットペーパーを諏訪部会長･藤江委員長で市に寄贈しました。

4.平成26年9月20日(土)国際ロータリーの「環境保全活動」で西臼塚駐車場周辺の清掃と自然林のエコツアーに藤江委員長･石井副委員長で参加しました。

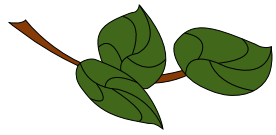
5.平成26年10月19日(日)10時20分から14時20分まで、見晴学園にて「みはらしフェスタ2014」に参加し、例年通り飲食の模擬店を担当した。豚汁が好評であった。

国際奉仕委員会　副委員長　平出利之君

平成27年3月21日(土)

苗栗RC創立44周年記念式典参加予定

その際、三島市中学生男子2名･女子2名、清水町中学生男子1名･女子1名、西本和夫会員のお孫さん中学生男子1名、合計7名の中学生参加します。



ロータリー財団米山委員会　委員長　柴崎恵子君

[ロータリー財団]

･年次寄付　24名の会員に$3500ご協力いただきました。(地区目標70%達成)

･ベネファクター　上期で諏訪部照久会員にご協力いただきました。(地区目標1名達成)

･「未来の夢計画」　地区補助金申請見合わせますが、三島西RCは苗栗との中学生交流事業が29年目を迎えます。このことをロータリーの友に掲載し多くの皆様のご理解をいただくことにいたしました。

[米山]

･米山記念奨学会寄付24名の会員に¥280,000－ご協力いただきました。(地区目標32%達成)

･米山記念館賛助金　クラブ予算より9月初旬¥150,000－納入いたしました。

･10月の米山月間には米山記念館で例会を行い、米山記念学友会副会長　篠原暁恵さんに卓話をしていただきました。

･米山記念館創立45周年秋季例大祭が9月13日に開催三島西RCより数名の会員にご参加いただきました。

ご協力ありがとうございました。

おめでとう

会員誕生日	米山君、千葉君
奥様誕生日	長田君
結婚記念日	鈴木(郁)君、関本(照)君

ROTARY　NEWS

ロータリーデー:国連とロータリーの協力

2014年11月、ニューヨークの国連本部で、69年間におよぶロータリーと国連のパートナーシップを記念する「ロータリーデー」の特別行事が行われました。両団体は、世界平和を目的として、1945年の終戦後に協力を開始。その後もパートナーシップを拡大し、今日、性差別、母子の健康、疾病予防と治療などの分野で協力活動を行っています。

国連ミレニアム開発目標は、2015年までの目標達成をめざしています。しかし世界には、極度の貧困(1日1.25ドル以下の生活)を強いられている人びとが12億人いるとされます。このため国連は、目標のレベルを引き上げ、2030年までに極度の貧困問題に取り組むための準備を進めていると、ポスト2015年開発アジェンダ担当のアミナ J. モハメド氏は話します。

「世界には課題に取り組むためのリソースがあるのだから、私たちはその活用方法を確立しなければならない」とモハメド氏。それだけに、ビジョンを共にする団体が力強いパートナーシップを築き、極度の貧困問題に取り組むことの重要性を強調します。また、そのようなパートナーシップの好例として、ロータリーとパートナー団体によるポリオ撲滅活動に言及しました。

ロータリー側から出席したジョン・ケニー財団管理委員長は、これを受けて、「私たちは根気強く取り組み、課題を克服しながら前進を続け、決してあきらない」と、堅い意志を表明しました。

ユニセフの主要保健顧問であるニーナ・シュワルビー氏は、ポリオとの闘いで培われた"接触者追跡"(感染者が接触した人の特定と追跡)のスキルが、昨今のエボラ出血熱への対応をはじめとする「グローバル保健の進歩のカギを握るモデルである」と述べました。実例として、ナイジェリアでは、エボラ感染の流行を食い止める主な手段として、ポリオ撲滅活動で導入された追跡方法が応用されています。

教育支援を通じた貧困への取り組み

モハメド氏は、極度の貧困問題に取り組む手段として、インフラの拡充に加え、教育支援を充実させる必要性も訴えました。過度の貧困から人びとを救うには、すべての女子に教育を提供し、男女間におけるその他の不平等にも取り組む必要があります。

国連事務総長による"Every Woman Every Child"イニチアチブでシニアマネージャーを務めるナナ・タオナ・クオ氏は、「世界最大の"未開発"リソースである女性や子どもたちを支援することが貧困解消への最善の近道」であると述べます。クオ氏はまた、世界各国・各地域の政策立案者に支援を呼びかけていく上で、ロータリーが非常に重要な役割を担っていると述べました。

ロータリーリーダーによる声明

ロータリー代表ネットワークの先頭に立って活動するエド・フタ元RI事務総長は、人道的問題への取り組みでパートナーシップを築くとともに、今後もポリオ撲滅に全力を注ぐことの重要性をロータリアンに呼びかけます。フタ氏は、ポリオ撲滅まであと1%のところで活動をやめてしまうことは、ニューヨークマラソンのゴール目前で走るのをやめてしまうようなものだと指摘。完全に撲滅できなければ、記録も何も残らないと話します。

また、フタ氏は、平和への取り組みに力を注ぐようロータリアンに訴えます。「平和を築くべきときに誰に頼ればよいか。それはロータリアンです。ロータリアン一人ひとりが、平和を築いていかなければなりません」

さらに、ロータリアンはグローバルコミュニティのために活動すると、フタ氏は言明。「これこそ、国連が私たちロータリアンに求めているものです。それに応えようではありませんか」

ゲイリー C.K. ホァンRI会長は、ロータリーデーで学んだことを多くの人に伝え、「さらに輝きのある世界を築きましょう」と参加者に呼びかけました。

(週報担当:川名正洋)

三島西ＲＣテーマ　　FTCで楽しくロータリー